

くろかわ感染症情報

参考：厚生労働省、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

今回のテーマは **ダニ媒介感染症！～ダニに注意しましょう～**

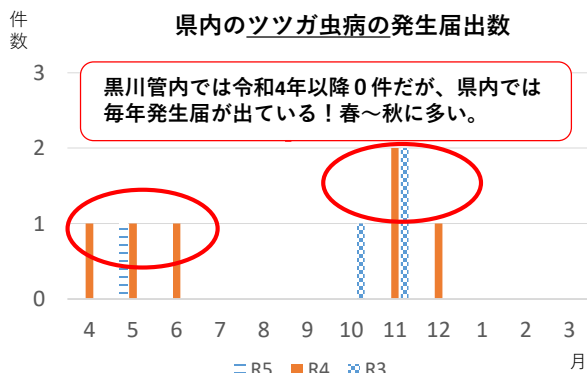
ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることにより感染する病気で、つつが虫病や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、日本紅斑熱、ライム病、ダニ媒介脳炎等があります。**特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては刺される危険性が高まる**ため、農作業やキャンプ、ハイキング、山菜採り等の際に刺されないように注意しましょう。

どんな症状？

| 病名 | 症状等 | 刺されてから症状が出るまでの期間 |
|----------------------|---|------------------|
| つつが虫病 | 発熱、発疹、刺し口、リンパ節の腫れ、頭痛等 | 5日～14日 |
| 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）※2 | 発熱、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、下血、筋肉痛、リンパ節の腫れ等 ⚠️ 致死率は10～30% | 6日～2週間 |
| 日本紅斑熱 | 発熱、発疹、刺し口、頭痛、だるさ等 | 2日～8日 |
| ライム病 | 特徴的な紅斑（二重丸のような赤み）、筋肉痛、関節痛、頭痛、発熱等 | 3日～32日 |
| ダニ媒介脳炎 | 発熱、頭痛、目の奥の痛み、関節痛が1週間ほど続き、解熱後2～7日症状が消え、その後けいれんやめまい、麻痺等が現れる | 2～28日 |

いつ発生しているの？

県内のツツガ虫の発生届出数



もし刺されたら？

◆無理に引き抜かず、なるべく早く医療機関（皮膚科等）でマダニの除去・洗浄をしましょう。

◆山林や河原に行った後数週間は体調の変化に注意し、上記の症状が出現した場合はダニ媒介感染症も疑い医療機関を受診しましょう。

吸血前
(約0.5cm)



吸血後
(約1.5cm)



刺されないのが一番！ダニから身を守るためのポイント

山林、原野、河原等に行くときは以下のことに心がけましょう。

◆肌の露出を少なくする！

長袖・長ズボン、帽子、手袋、首にタオルを巻く等。

◆足は完全に覆う！サンダルは避けましょう。

◆明るい色の服を着る（マダニを目で確認しやすくするため）

◆防虫スプレーを使いましょう

◆直接草むらに座ったり、服を置いたりしない

◆帰宅後はすぐ入浴し、マダニに咬まれていないか確認！

特に脇の下、足の付け根、膝の裏、胸の下、髪の毛の中等。



2025年4月18日発行

◆御意見・御質問などは塩釜保健所黒川支所までお願いいたします。電話：022-358-1111 FAX：022-358-1110

◆この情報は、宮城県仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）HP（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-helth-k/index.html>）にも掲載しております。もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP（<https://www.pref.miyagi.jp/>）、厚生労働省HP（<https://www.mhlw.go.jp/>）をご覧ください。